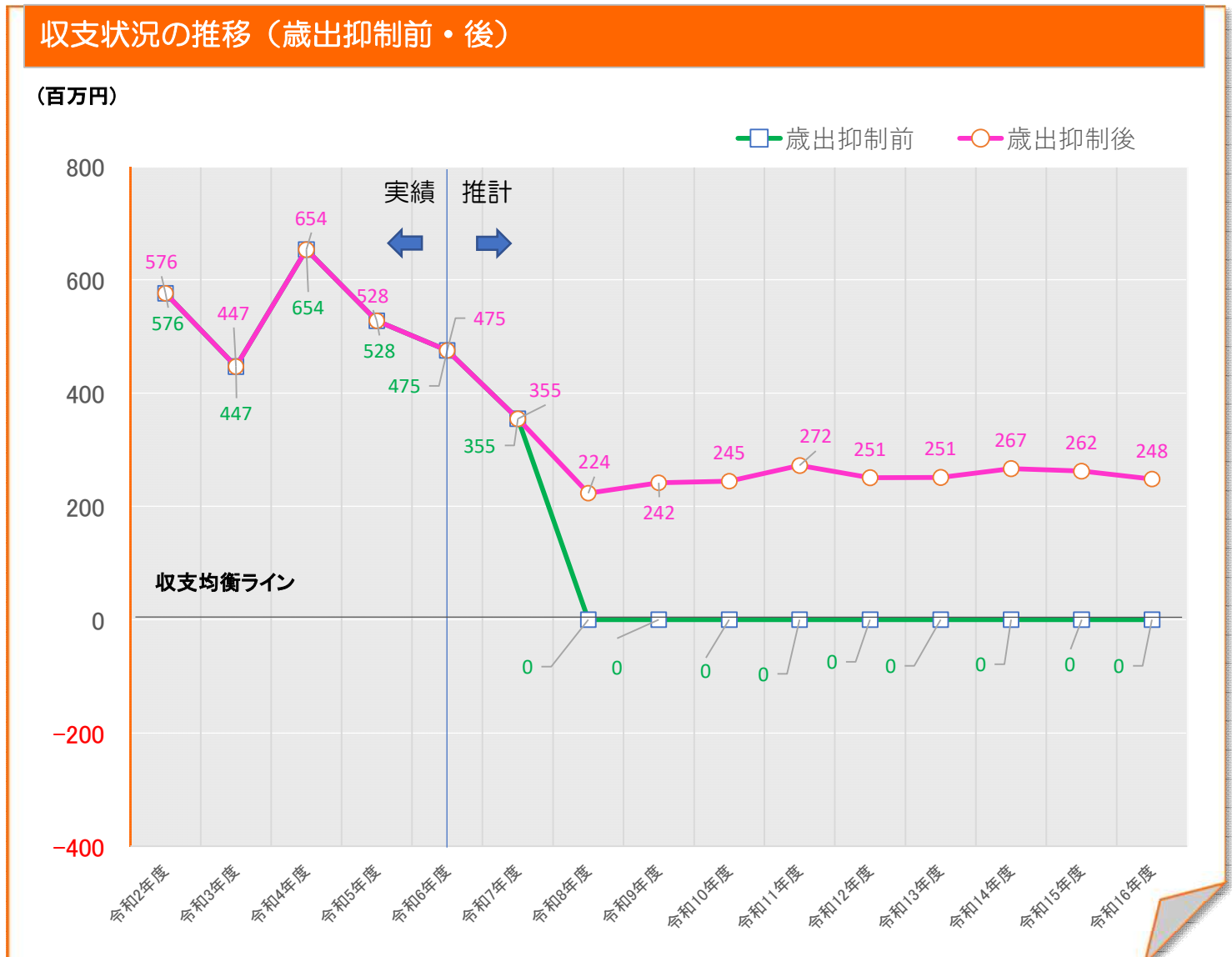
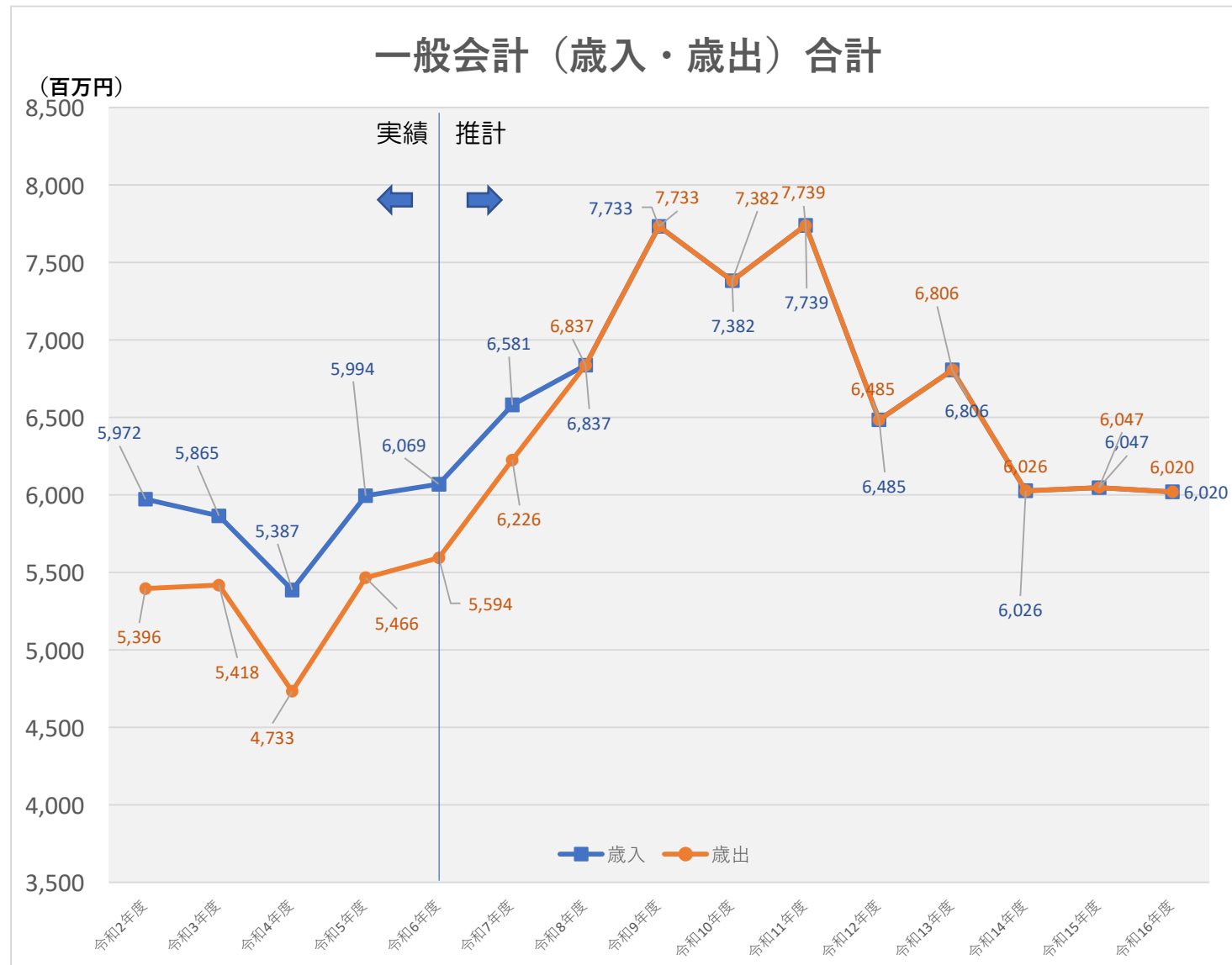




■ 歳入・歳出の見通し



【財政見通しを試算する上での条件】

- 令和6年度までの決算額と令和7年度以降の主要事業額をベースに、収支等に大きく影響するものを反映して作成しています。
- (歳入)
 - 町税は、過去の推移及び直近の試算を踏まえて計上
 - 地方普通交付税は過去の推移を考慮し、町債は想定される各年度の町債発行額を試算
- (歳出)
 - 人件費は、各年度の職員数を推計して試算
 - 公債費は、各年度における発行予定額（維持補修費、普通建設事業費に係る各一般会計債及び臨時財政対策債）の元利償還金を加算して試算
 - 出資金及び補助金は、下水道の広域化に係る費用、上下水道施設更新費用における元利償還金等を加算して試算

○主な事業と施行年度・歳出見込み

※今後の財政状況によっては変更となる場合があります。

(総務課)

- ・ふれあいセンター大規模改修 R12-13 171百万円
- ・消防団分署詰所改修工事 R11-12 86百万円

(健康福祉課)

- ・保健センター、介護予防センター大規模改修 R11-R12 530百万円

(こども未来課)

- ・西児童館大規模改修 R9-10 88百万円

(特定プロジェクト推進課)

- ・役場庁舎複合化 R7-11 4,951百万円
- ・適正土地利用推進事業 R7-R16 385百万円
- ・地域優良賃貸住宅整備事業 R7-R16 621百万円

(建設水道課)

- ・町道7号線整備事業 R8-16 1,247百万円
- ・水道事業及び下水道事業(出資金) R7-16 1,618百万円
- ・ " (補助金) R7-16 2,287百万円
- ・水道事業 思川開発建設事業に係る消費税 R8 129百万円
- ・水道事業 思川開発事業割賦負担金 R14-16 44百万円

(教育委員会)

- ・中学校普通教室棟中規模改修工事 R8 175百万円
- ・野球、テニスコート照明LED化工事 R8 127百万円



持続可能な財政運営を行っていくために…



- ・本町の歳入では、町税が大きなウェイトを占めており、なかでも町民税については新型コロナウイルス感染症の影響による減収から緩やかに回復傾向にあるものの、長引くデフレや中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響により下振れのリスクがあります。
- ・歳出では、複合庁舎の建設、児童館・保健センターなど公共施設並びに上下水道施設など生活インフラの老朽化対策、さらには上下水道事業の広域化・共同化といった大規模事業への対応が見込まれます。
- ・このような状況の中で持続可能な財政運営を行っていくためには、一般会計のみならず特別会計・公営企業会計含めて計画的な予算執行が必須となります。
- ・本見通しでは、令和6年度決算額を反映させるとともに、これまでに計画した執行予定額を再検証し更新したものです。
- ・ここでは、一般会計歳出決算額規模を令和7年度から令和16年度までの間「収支状況の推移」グラフのとおり抑制することにより、収支の均衡が保たれる結果となりました。これは将来に向けての財源(基金)を確保しつつ、最重点プロジェクトである複合庁舎整備事業など大規模事業への対応をも考慮したものです。
- ・しかし、これらは飽くまで推計であり、町を取り巻く情勢の変化により収支の均衡が崩れる可能性があることから、ふるさと応援寄附金などの税外収入の確保や受益者負担の適正化による歳入の確保、また、既存事業の見直しや公共施設の適正配置など徹底した歳出の抑制を図り、健全な財政運営に努めてまいります。

●中期財政見通しに基づく今後10年間の予算規模について

「収支状況の推移」グラフに示したとおり、歳出を抑制していけば、今後10年間の財政運営が可能となっています。令和8年度から収支が差引き零なのは、現在まで積み立てた財政調整基金を取り崩し、赤字分を補填しているためです。財政調整基金は、公共施設の老朽化対策や町債償還に備えて計画的に確保することから、今後10年間において各年度の収支均衡ラインを下回らないように予算編成を行う必要があります。

下の表は、それぞれの年度における単年度収支を示した表となります。各年度とも前年度の繰越金を除いた収支状況は拮抗しており、特に令和8年度においては非常に厳しい財政運営となることが予測されます。単年度で安定的な収支を確保し後年の財政運営を可能にしていくためには、徹底した経常経費の見直しを行うとともに、「収支状況の推移」グラフに示した黒字を出していくことが重要です。

●各年度の単年度収支について

(単位 千円)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	備考
歳入	6,580,586	6,304,436	7,550,991	7,284,580	7,666,367	6,263,615	6,806,194	5,941,523	5,893,108	5,905,374	
歳出	6,225,949	6,435,508	7,532,759	7,281,735	7,638,790	6,284,964	6,805,906	5,926,000	5,897,497	5,876,513	
収支	354,637	▲ 131,072	18,232	2,845	27,577	▲ 21,349	288	15,523	▲ 4,389	28,861	

※ 単年度収支＝当該年度実質収支(歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源)－前年度実質収支